

《開催場所》

- 【A】森の音楽堂（雨天時は「子どもホール」1階）
【B】南口案内所 / 【C】北口案内所
【D】子どもホール横広場（雨天時は「子どもホール」1階）
9:30 ~ 12:00 動物なんでも相談【B】
9:30 ~ 12:00
捨て猫・捨て犬防止キャンペーン抽選会受付【B】【C】
※抽選会は12:20~12:30 森の音楽堂にて実施
10:00 ~ 12:30 アニマルメイク【D】
10:30 ~ 11:35
式典（主催者挨拶、長寿動物・図画・作文表彰等）【A】
11:00 ~ 12:00 どうぶつのお医者さん体験コーナー【D】
※雨天時は中止
11:35 ~ 11:55 警察犬デモンストレーション【A】
11:55 ~ 12:20 マジックバルーンショー【A】

※その他、森の音楽堂で消防音楽隊による演奏(10:00~)や、子どもホール2階で動物愛護図画・作文の入選作品展(9/20~9/26)を開催予定。

☆ 森のおはなし探検隊 ☆

9月のテーマは、

「昔なつかし子どもの遊び」

ささ舟流し、水鉄砲、けん玉、紙風船やお手玉などを準備しています。

開催日時：9月13日(日) 13:00~

開催場所：子どもホール

参加費：無料(別途要入園料) 事前申込不要



森の仲間たち

「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>



森のお便り 9月号 2015年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」15年9月1日発行 通巻151号

到津の森公園 & 動物愛護センター

動物慰霊祭

入園料無料!

9月23日(水・祝) 9:00~18:00

子どもから大人まで、入園料無料でお楽しみいただけます。
動物愛護センター、北九州市獣医師会などによるイベントが盛りだくさん!

また、当日は閉園時間を延長して夕方6時まで営業します。

※駐車料金、遊具利用、エサやりは通常どおり有料です。



動物慰霊祭

~ 昨年の慰霊祭以降、これまでに当園で亡くなった動物たちに献花します ~
ご来園の皆さんもぜひご参加ください。

開催日時：9月23日 9:30~10分程度

開催場所：郷土の森林 動物慰霊碑前

天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承下さい。
詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問い合わせ下さい。

森のなかま・ワライカワセミ

続・ワライカワセミ！！

みなさん、こんにちは。森のお便り7月号で、ワライカワセミの誕生、そして間もなく巣立ち！！とご紹介しましたが、あれから2ヶ月、ワライカワセミはどうしているかということ・・・。

見られた方はご存知かもしれませんが、無事に巣立ちをして、今では親鳥と変わらぬ姿まで立派に成長しています。巣立ち後すぐは、親鳥はエサを受け取るとすぐにヒナのもとに運んでいましたが、日が経つにつれ、親鳥はヒナの自立を促すように、すぐにエサを渡さず、ヒナが近づいてくると逃げたり、エサを見せながら飛びまわったりと、じらしながらエサを与えるようになり、最近ようやく、ヒナは自分でエサをとるようになってきました。

ただ、子育て熱心なオスの親鳥ファボスは、まだまだヒナの面倒を見ようと、ヒナのもとにエサを運んでは、見せびらかしては飛びまわったり、ヒナの反応が無かったら顔におしついたり、子育てに頑張っています（笑）

こんな微笑ましい姿をもう少し見ることが出来ると思います。ぜひ、ワライカワセミに会いに来てください。



飼育展示係 小林 弥生

花暦長月

今年の猛暑の中にも、ふと気づくと、空高くウロコ雲が現れ荒れ地にはタカサゴユリが群れ咲き、秋はそこまでと知らせてくれました。

同じように葉の一枚もないところから花茎を突然伸ばして、真っ赤な花をつけるヒガンバナが秋の到来を知らせてくれます。

ここ北九州では、お彼岸の一週間位前からきまって花をつける律義さはとても不思議。もちろん園内でも赤や白のヒガンバナ、同じ仲間のリコリスが秋の風情を楽しませてくれます。

またよく目をこらして見ると、たくさんの秋咲きの野草達が見つかります。ヤブラン・ノシラン・ヤブマメ・ニガクサ・キンミズヒキ・アキノタムラソウ・ツルボ・サイヨウシャジン・コミカンソウ・ニシキソウ・シラヤマク・・・。

今回は秋に目立つイネ科の仲間からエノコログサに注目しました。ネコジャラシの別名でお馴染みですね。案外知られていないのは、古代よりユーラシアで栽培され、日本でも古くから米の補助として、最近では健康食として愛されるアワ(粟)の原種であるという事。

エノコログサの緑の穂はピンと立って、その名も仔犬のしっぽからきているとか。

さて、野に出て探すと案外種類は多いのです。よく似た「アキノエノコロ」はエノコログサより少し草丈高く、80センチ位になる事もあり穂先は垂れています。「キノエノコロ」は穂の毛が黄金色で、よく群生しているのを見かけます。夕陽に映える姿はいかにも秋らしく美しいですね。「コツブキンエノコロ」という20センチ位の種類もあります。「オオエノコログサ」は、エノコログサとアワの雑種で丈高く、1メートルにもなり、穂の部分をよく見ると枝分かれして、穂の固まりが穂となっています。

まだまだ数種が見つかっており、平凡に見える野草の観察の醍醐味を味わえるものです。

文：花咲くおばさん